

---

第20報 平成23年7月8日

# 東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

---

## 【ストレートアスファルト】

現在宮城県等の被災地には、関東や日本海側の製油所・油槽所から供給されているが、長距離の輸送となっていることやローリー車の台数にも限りがあることから、急激な需要増への対応は困難な状況にある。そのため、供給側ではこれまで以上に限られた供給力の効率的な活用を呼びかけている。また、電力制限令により、出荷時間に制限が生じる可能性も懸念されている。

## 【コンクリート型枠用合板】

輸入品の入荷増が続くものの、需要は思うように伸びておらず、荷動きは鈍い。市中在庫には荷余り感が生じており、市況は弱含みで推移している。

## 【電線・ケーブル】

復旧需要が本格化せず、総じて需給関係は緩和の状態で、銅価格上伸に伴う卸値上昇分を、販売側では製品価格に転嫁しきれない状況にある。夏場の電力不足による生産低下を懸念し、メーカーでは増産を継続している。

## 【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

土木第一部・土木第二部

TEL 03-3543-1471

## 【ストレートアスファルト供給情報(製油所)】

①製油所の状況について

2011/07/06確認

製油所・工場名	所在地	稼働状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石エネルギー	仙台製油所	宮城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定。
	鹿島製油所	茨城県	○	○	○	現在生産は通常の6割程度の稼働ではあるが、陸上・海上出荷とも通常通りの体制。
	根岸製油所	神奈川県	○	○	○	通常通り出荷。
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	×	×	燃料油は、一部出荷再開も、スト・アスに関しては出荷不可の状態が続いている。
	四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能。
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止。 (燃料油は問題なく生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

関東地区において稼働している製油所は、昭和シェル(東亜石油)、JX(根岸製油所・鹿島製油所)の2社3製油所となり、関東地区での供給は、安定している。

一方、東北地区太平洋岸では生産拠点・油槽所の多くが被災しており、なかでも東北地区の需要の大半を担っていた同地区の製油所は、復旧、生産・出荷の再開には時間を要する見通しとなっている。現在、宮城県等へは、関東や日本海側の製油所・油槽所から供給されているが、長距離の輸送となっているほかローリー車の台数にも限りがあることなどから、急激な需要増への対応は困難な状況。また、重油など燃料油需要への生産対応との兼ね合いもあり、安定的な供給体制を構築するまでには至っていない。そのため供給側では、これまで以上に限られた供給力の効率的活用を呼びかけている。

なお、7月以降の電力制限令により、出荷時間に制限が生じる可能性も懸念されている。

【ストレートアスファルト供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2011/07/07確認

地区	都道府県名	ストレートアスファルト						
		供給動向				価格動向		
		供給可否	運搬車両	運搬経路	備考	現状	先行き	変動要因
北海道	北海道	○	○	○		横ばい	横ばい	
東北地区	青森県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	岩手県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	宮城県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	秋田県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	山形県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	福島県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
関東地区	茨城県	○	△	○		横ばい	横ばい	
	栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野	○	△	○	夏場には、扇町の製油所での生産は終わり、替わって横浜に油槽所ができる予定。	横ばい	横ばい	
北陸地区	新潟・富山・石川・福井	○	△	○	新潟県内の輸送車両が、東北地区への輸送を行っているため、不足気味である。	横ばい	横ばい	
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三重	○	○	○		横ばい	横ばい	
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	○	○	○		横ばい	横ばい	
中国地区	岡山・広島・山口・鳥取・島根	○	○	○		横ばい	横ばい	
四国地区	香川・愛媛・徳島・高知	○	○	○		横ばい	横ばい	
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	○	○	○		横ばい	横ばい	
	沖縄県	○	○	○		横ばい	横ばい	

ストレートアスファルト

※供給状況:供給できる場合は「○」、供給できない場合は「×」で表示。

※運搬車両:ローリー車が充足している場合は「○」、一部、運搬車両不足により供給が遅れることがある場合は「△」、運搬車両の手当てが出来ないまたは、運搬ルートが確保できない場合は「×」で表示。

※運搬経路:震災前までに行っていた運搬ルートに変更が無い場合は「○」、運搬ルートに変更がある地域が一部生じている場合は「△」、運搬ルートの変更を余儀なくされている地域がほとんどの場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

東北地区については、製油所、油槽所の被災により運搬経路が震災前と異なる状況にあり、運搬コストが増大している地域がある。販売側は、これによるコスト増分を販売価格に転嫁したいとし、価格交渉が行われている。

また、供給面においても東北地区では、ローリー車が不足していることや、供給拠点の減少により、需要が集中した場合の製造、物流を懸念する声が多い。今後需要が増加した場合の安定的な供給には、全国の長期的な需給動向の予測が不可欠であるとしている。

【アスファルト混合物供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2011/07/07確認

地区	都道府県	供給動向				備考	現状	先行き	変動要因
		出荷状況	燃料 (工場 設備)	燃料 (運搬 車両)	運搬 車両				
北海道	北海道	減少	○	○	○		強含み	強含み 横ばい	
東北地区	青森県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
	岩手県	前年並 以上	○	○	○		強含み	強含み 横ばい	
	宮城県	前年並 以上	○	○	△	ガレキ処理などで、運搬車両が 手当てしづらいことがある。	強含み	強含み 横ばい	
	秋田県	減少	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
	山形県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
	福島県	前年並 以上	○	○	○	退避指示により稼働していない プラントが2工場ある。	強含み	強含み 横ばい	
関東地区	茨城県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
	栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野	減少	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
北陸地区	新潟・富山・石川・福井	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三重	減少	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
中国地区	岡山・広島・山口・鳥取・島根	減少	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
四国地区	香川・愛媛・徳島・高知	減少	○	○	○		横ばい、 一部地区 で強含み	強含み 横ばい	
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	減少	○	○	○		横ばい、 一部地区 で強含み	強含み 横ばい	
	沖縄県	減少	○	○	○		横ばい、 一部地区 で強含み	強含み 横ばい	

※出荷状況：前年並み・前年以上に出荷がある場合(対前年95%以上)は「前年並以上」、前年より出荷が少ない場合(対前年80~95%)は「減少」、前年より出荷が少ない場合(対前年80%未満)は「大幅減」で表示。

※燃料(工場設備)：工場設備の稼働に対するエネルギーが充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。

※燃料(運搬車両)：主に軽油が充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。

※運搬車両：混合物出荷のためのダンプトラックが充足している場合は「○」、一部、手当てしづらい日が生じている場合は「△」、十分に手当てできない状態の日が多い場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

原油価格上昇に伴い、油脂(重油、軽油、スト・アス)価格が上昇している。販売側は、出荷の減少も重なり、コスト増加分の価格転嫁は不可欠であるとして、全国的に値上げを打ち出している状況にある。出荷面では、特に中部以西で昨年に比べ出荷量が減少している地区が目立つ。

また、東北地区の太平洋側ではガレキ処理に関わるダンプの需要増により、手配しづらい状況が続いている。

## 【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2011/07/07確認

工場名		所在地	稼働状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	稼働中。スト・アス入荷に若干の難有り。
	関東工場	埼玉県	○	○	通常稼働中。
ニチレキ	青森工場	青森県	○	○	通常通りの製造出荷を行っており、被災地へのサポート出荷をしている。
	仙台工場	宮城県	○	○	一部工場を稼働している。なお、完全復旧に向けて順調に進んでいる。
	千葉工場	千葉県	○	○	通常通りの製造出荷を行っており、被災地へのサポート出荷をしている。
東亜道路	青森工場	青森県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	岩手工場	岩手県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	宮城工場	宮城県	○	○	工場の一部が復旧し稼働を再開した。
	福島工場	福島県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	茨城工場	茨城県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	群馬工場	群馬県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	千葉工場	千葉県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	神奈川工場	神奈川県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	長野工場	長野県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
昭和シェル	瀝青化学 袖ヶ浦工場	千葉県	○	○	設備稼働に問題なし。一部の原材料が入手しづらくなっている。
	三重プラント	三重県	○	○	設備稼働に問題なし。一部の原材料が入手しづらくなっている。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」、燃料、原材料がなく出荷できない場合は「△」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

7月以降の電力制限令により、出荷時間に制限が生じる可能性が懸念されている。

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート型枠用合板	販売店	7月6日	荷揚げ港、港頭倉庫の被害は、一部を残し復旧している。	荷揚げ港の復旧と輸入品の入荷増により、供給体制は改善してきている。	平常通り。	需要が思うように伸びず、荷動きが鈍い中、7月も輸入品の入荷増が続く見通しで、市中在庫には荷余り感が生じている。このため、価格は下落傾向を示している。
建築資材	内外装材	572	針葉樹構造用合板	販売店	7月6日	宮古、石巻、大船渡など、製造工場が被災。現在復旧作業中。石巻の一部工場では、月内をめどに部分的に生産・出荷を再開できる見通しとなっている。	仮設住宅建設向けの供給は、十分に確保できている。これに伴い、一般流通向けも回復に向かっているが、損壊住宅の修繕等で必要な量の調達はいまだに難しい。	西日本エリアではほぼ平常通りに戻ってきている。しかし、東日本エリアでは一般流通向けで、まとまった量の確保は難しい状況が続いている。	被災工場の一部は7月より順次再開できる見通しだが、厚物や長尺品を中心とした一部品目における品薄感はいましばらく続きそう。市況は横ばいで推移。
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・土木用木材	販売店	7月6日	特になし。	全般的に品薄感は見られていない。むしろ、仮設住宅着工戸数の下方修正に伴い、一部で在庫が増加傾向に転じる場面も散見され始めている。	平常通り。	特になし。
共通資材	木材	230 ～ 237	一般建築用木材	販売店	7月6日		平常通り。	平常通り。	特になし。

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
土木資材	軽仮設資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	全国仮設安全事業組合・軽仮設リース業協会	7月7日	被災地の一部事業所で材料流出や工場設備に被害があったが、復旧している。	現時点では東日本大震災復興向けの引き合いは少なく、保有量に問題はない。 被災地以外の供給は平常通り。	
土木資材	軽仮設資材	262(販売) 284(リース)	仮設ハウス	プレハブ建築協会、メーカー各社	7月7日	被災地の一部工場設備に被害があったが、復旧している。	新規製造品については各部材の調達不安は解消されているが、一部の部材には重複発注によりキャンセルも発生している。ただし、一棟あたりとしては、当面、全国的にやや品薄な状況が続く見通し。 現場事務所用のリース品は被災地以外では在庫が確保されているが、被災地ではやや品薄となっている。	
土木資材	軽仮設資材	260 264	ブルーシート、土のう	メーカー、販売店各社	7月7日	なし。	ブルーシート、土のうとも国内工場の増産と輸入品の入荷によりほぼ平常の供給状況に回復している。	

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
建築資材	電気設備資材	607	電線・ケーブル	メーカー、流通	7月7日	被災メーカーの生産体制及び流通の供給体制は回復。	生産量については、夏場の電力不足による生産量低下を懸念し、在庫を積み増しするべく増産を継続。 一方、流通についても物流は平常通りの体制。	メーカーの供給体制は被災地域同様。	復旧需要が本格化せず、それ以外の需要も振るわないことから、総じて需給は緩和の様相で、銅価格上伸に伴う卸値上昇分を販売側では製品価格へ転嫁しきれない状況。

月刊「積算資料」掲載品（一般資材） 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
機械設備資材	配管資材	782	硬質ポリ塩化ビニル管	メーカー各社	7月8日	被災した工場が操業を再開。生産能力は回復している。	ほぼ通常の供給体制。	ほぼ通常の供給体制。	ほぼ通常の生産体制に戻っている。現状価格は横ばいだが、原材料の塩ビ樹脂価格の値上がりに伴い、塩ビ管メーカーでは5月から値上げを表明しており、先行きは強含み横ばい推移。